



原発ゼロに

遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



戦争反対！憲法9条変えるな！

医療・介護・子育て・暮らしを守れ！



6/19 総がかり行動で訴える服部市議、遠藤前県議

6月19日、アオーレ長岡前で、総がかり行動の街宣が取り組まれました。酒井光男さんがギターを奏でて沖繩の歌を披露。
新婦人の会を代表して田口たかさんが、「沖繩県の平和の礎（いしじ）に行ってきた。新潟県の犠牲者1236名のお名前が刻銘されていました。戦争は絶対にしてはならない」と平和への誓いを報告しました。
遠藤れい子前県議、服部耕一市議もマイクを握り「憲法9条改悪は絶対反対！」「高市内閣は戦争への

道をまっしぐら、徴兵制は許してはなりません」「戦争の犠牲になるのはいつも女
強いトークが続きました

日本共産党の県会議員がいなくなつてからの「新潟県の変化」を考える



遠藤れい子

298票差で失った議席

先回の県会議員選挙は298票差で落選。共産党の県会議員がいらない県政の変化を考えます。

①原発再稼働を容認

花角知事は、「県民に信を問う」公約を反故にして、県議会に「原発の広報予算」を提案し、その採択で「県民の信を得た」との詭弁を弄し、強引に再稼働を容認しました。

②県立病院などの統廃合と入院ベッドの削減を進める

新潟県は財政赤字を理由に県立病院の統廃合や

入院ベッドの削減を進め、安心の医療体制が次々と後退しています。入院できない、お産ができない等、地域医療の崩壊が起っています。

③人口減少、更にすすむ

国言いなりの「行政改革」で、病院を無くしたり介護事業所の経営難を放置すれば地域の雇用環境を悪化させ、若者や女性の働く場を奪って、人口減少に拍車がかかります。

④基幹産業の農業は急激に困難な状況が進む

令和7年の基幹的農業従事者は3万4540人で、5年前より1万1545人(25%)も減少しました。新潟県の基幹産業である農業をしっかりと守り育てる対策が必要です。

★暑くなりました。毎週火曜日の宣伝カー行動。今日16日は学校給食無償化に取り組みの中心となり活動された田口たかさんと一緒にしました。元氣が出る街宣行動になりました。

★女性のミニつどいに参加、あいさつしました。女性のつどいはなかなか素敵で面白い！医療現場の現状など報告しました。

★我が家のタマネギまるまるとおいしそうになったので収穫しました。

★「今年も梅がいっぱい実るね」と友達がやってきました。一緒に収穫しました。さあて、「梅干し・梅干し、美味しくなあれ！」



6/16一緒に街宣。(左)遠藤、(右)田口